

Makuhari's Memory

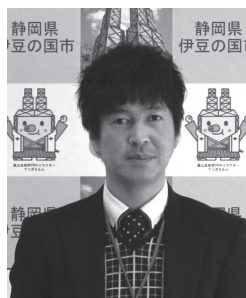
研修いくなら、アカデミーでしょう（賞）

「研修いくなら、1人がいい。」「研修いくなら、泊まりがいい。」これが私のモットーです。すでに察しがつく方もいると思いますが、複数人で参加する研修では、同僚がいることで安心感がある一方、他に仲間をつくらなくていい環境を与えます。一方、宿泊を伴わない研修では、講義を受けたら解散というのが一般的であり、グループワークを中心とした講義でない限り、挨拶すらする機会もありません。我々自治体職員にとって大切な、情報交換や横のつながりは、やはり講義+αというものが大切であると考えています。

今回、はじめて市町村アカデミーに参加させていただき、あらためてその意識を強くしたところであります。風土も風習も異なる地域から、所属も年齢も異なる職員が集まり、9日間という時間をともに過ごした機会は、とても貴重なものでありました。特に、班の仲間と夜遅くまで取り組んだ課題演習、クラスの仲間と過ごした週末は、それぞれの役所をうかがい知ることができ、本当

に楽しい時間でありました。ぜひ今後は、それぞれの市町村を訪れ、「自主研修」ならぬ「地酒研修」に励んで参りたいと思います。

魅力ある講義を提供してくれた講師の皆様、様々な調整を担ってくれたアカデミー職員の皆様、そして素敵な時間を共有してくれた同期の皆様、本当にありがとうございました。そして、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



佐藤 健太

静岡県伊豆の国市
市長戦略部市長公室
〈受講研修科目〉
少子・高齢社会における政策企画（長期ビジョンをもとに）
第30期第1組（平成28年度）

9日間の経験・出会いに感謝

平成29年1月31日から2月8日まで、「住民とともにすすめる地域政策」の研修に参加させていただきました。「どんな9日間になるのだろう」と不安と期待の気持ちで迎えた研修は、研修初日に「副幹事」の役目を伝えられ、不安な気持ちがいっばいのスタートとなりました。

ですが、全国各地から参加されていた方々は気さくでユーモアあふれる方ばかりで、初日の懇親会では初対面とは思えないほど盛り上がり、不安だった気持ちもどこかに飛んでいきました。

おかげで講義はもちろん、班での討議やグループワークに落ち着いた気持ちで参加することができ、各自自治体での取り組みや個々の経験を聞くことで、多くのことを学ばせていただきました。

特に同じ班のメンバーは良い人ばかりで、座長の進行のもとスムーズに課題演習を進めることができ、お互いに知恵を出し合ったサブテーマのもと、限られた時間の中でメリハリのある討議を行えたことで、お互いに納得

のいく発表ができたと感じています。また、討議のみならず食事の時も一緒に行動したことで、他の班に負けないうぐらいのチームワークを築くことができ、今後も連絡を取り合える関係になったと思っています。

依田教授、横手主査をはじめ、研修をともにしたみなさんのおかげで、実りある研修となり、さらに副幹事もなんとか務めることができ、充実した9日間を過ごせたことに感謝しています。



福士 朋恵

宮城県多賀城市
市長公室行政経営担当
〈受講研修科目〉
住民とともにすすめる地域政策
第30期第1組（平成28年度）

Makuhari's Memory

とても大事なことを学びました

中堅職員以上の研修とのことで、新採用職員の私は浮いてしまうのではないかと緊張していましたが、参加された皆様はエネルギーで若々しく、経験年数が少ない私をとてども気遣って下さったため、安心して研修に臨むことができました。

研修内容は、座学のみならず、課題演習など、効率よく知識を得るための仕組みづくりがなされていて、9日間の研修を終えた後には自分の知識に対して自信を持つことができるようになりました。

超高齢化社会を迎える我が国にとって、高齢者福祉行政には難題ばかりです。中でも社会保障費を抑制するための在宅介護の推進は極めて重要な行政課題であり、課題演習では議論が煮詰まってしまうことも多々ありました。

しかしながら、メンバーの積極性が高く、発言しやすい雰囲気づくりがなされていたことで、活発な意見交換をすることができ、課題演習は非常にスムーズに進んでいきました。

知識を得ることももちろん大事なことです。しかし、

積極的に意見を発信することや、発言しやすい雰囲気づくりは、より良い政策を立案していくために最も重要なことだと本研修を通して実感しました。

今後の職務においては、意欲的に学習することはもちろん、積極的に発言をし、また、発言しやすい雰囲気づくりができるよう、努めていきたいと思えます。

最後になりますが、本研修を通して大変お世話になりました安部教授、担当の渡邊様、一緒に学んだ同期の皆様、本当にありがとうございました。



野尻 裕一

神奈川県綾瀬市
福祉部高齢介護課
〈受講研修科目〉
高齢者福祉と介護
第30期第1組（平成28年度）

充実したアカデミーでの9日間

私は1月31日から2月8日までの「監査事務」研修に参加させていただきました。

研修に参加するまでは、経験や知識の浅い私が講義やグループ討議をこなしていけるのか、と不安に思っていました。受講を終えて感じたのは、多くの知識を得るとともに全国の自治体の方々とのつながりを築くことができ、とても充実した研修生活を送ることができたという達成感でした。

研修では監査事務に関わる様々なテーマの講義があり、一度の機会に幅広い内容を学ぶことができるため、監査事務局に配属されて10か月程度の私にとっては、監査事務に係る知識を養うとても良い機会でした。グループ討議や問題演習では、自治体による考え方や事務の進め方の違いに触れ、当市との違いを知ることができ、今後の問題に対する考え方を広げてくれる貴重な経験となりました。このように全国の自治体の方々との意見や情報を交換することができるのは、市町村アカデミー研修の大きな魅力であると感じました。

また、交流会や食事の時間など、講義以外では班員の方々をはじめとして全国から集まった仲間たちと仕事の

話からプライベートの話まで色々な話をして親睦を深め、とても楽しい時間を過ごすことができました。こうして築いた皆さんとのつながりが大きな財産となるのだと思います。

このようにアカデミーでの9日間はとても実りのある日々となりました。ここで学んだ知識や経験を活かし、日々の業務に取り組みたいと思います。

最後になりますが、今回の研修に携わった皆様、この研修に快く送り出していただいた職場の皆様、本当にありがとうございました。



田村 征也

北海道旭川市
監査事務局
〈受講研修科目〉
監査事務
第30期第1組（平成28年度）